

Ⅳ センター主催の会議・研修会・講習会

名称	目的	年月日	内容	参集範囲
革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）「冬季寡日照地域のイチゴ栽培におけるミツバチの補完ポリネーターとしてのビーフライ（ヒロズキンバエ）の利用」第1回推進会議	研究計画について議論し、研究目標の明確化を図る。	2018. 6. 7-8	1. 前年度の成果について 2. 今年度の計画について	・ビーフライ利用コンソーシアム ・専門PO ・生研支援センター担当官 ・農林生産技術会議事務局担当官
平成30年度近畿中国四国農業研究推進会議 土壌肥料推進部会 問題別研究会	近畿中国四国地域の土壌肥料分析担当者が専門知識を習得し、意見交換、技術力の向上を図る。	2018. 9. 20-21	1. 現地検討会 2. 奈良県農業研究開発センターの取組と圃場見学 3. 基調講演「植物のマンガン輸送分子機構」 4. 話題提供「小麦ふくはるかの素麺加工適正」「土壌中カリウムがほうれん草のえぐみに与える影響」 5. 研究発表 4題	土壌肥料分析担当者
近畿農業関係試験研究場所長会議	会員相互の連携、試験研究の効率化や機能の充実、国の行政、農研機構との協力関係を緊密にするための情報交換	2018. 9. 27	1. 競争的資金の確保について 2. スマート農業について 3. 特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」について 4. メッシュ気候データの農業利用について 5. 分析機器の各府県での保有状況と他府県研究員の利用について 6. 府県育成新品種の普及体制と連携の可能性について 7. 近畿圏内の研究員育成のための連携について	・近畿農業関係試験研究場所長会 会員 ・近畿農政局生産部長 ・農研機構西日本農研所長
平成30年度近畿中国四国農業研究推進会議 病虫害推進部会（四国及び近畿中国地区農薬残留分析担当者会）	近畿中国四国地域の農薬分析担当者が専門知識を習得し、意見交換、技術力の向上を図る。	2018. 10. 25-26	1. 講演「農薬分析に携わって」 2. 府県からの情報提供 3. NAFIC見学 4. 残留農薬分析の精度管理について 5. 新任者の取組並びに推進上の問題点と解決策 6. 実験室の見学	農薬分析担当者
革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）セミナー「冬季寡日照地域のイチゴ栽培におけるミツバチの補完ポリネーターとしてのビーフライ（ヒロズキンバエ）の利用」	研究事業で得られた成果を関係者に周知する。	2018. 10. 31	1. ヒロズキンバエの増殖技術とマゴットセラピーによる壊疽の治療 2. イチゴのポリネーターとしてのビーフライの授粉能力と実用性について 3. 寡日照地域のイチゴ栽培におけるビーフライの実証試験 4. ビーフライの利用上の注意点	・ビーフライ利用コンソーシアム ・専門PO ・生産者 ・イチゴ関係者
革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）「冬季寡日照地域のイチゴ栽培におけるミツバチの補完ポリネーターとしてのビーフライ（ヒロズキンバエ）の利用」第2回推進会議	研究計画について議論し、研究目標の明確化を図る。	2018. 11. 15-16	1. 今年度の進捗について 2. ビーフライ利用マニュアルについて 3. 競争資金への応募について	・ビーフライ利用コンソーシアム ・専門PO ・生研支援センター担当官 ・農林生産技術会議事務局担当官 ・マゴットセラピー関係者
日本農薬学会 残留農薬分析セミナー2018関西	残留農薬分析の初心者等に基礎知識の習得や分析技術の向上を図る。	2018. 11-28-29	1. 残留農薬分析に係る法律と背景 2. 残留農薬分析の概要と留意点および信頼性確保 3. メソッドの最適化と上手な使い方 4. 残留農薬分析法の実習	農薬分析担当者

名称	目的	年月日	内容	参集範囲
平成30年度ゲノム情報を活用した農産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト ゲノム情報等を活用した薬剤抵抗性管理技術の開発 ナミハダニの薬剤抵抗性メカニズム解明と管理技術の開発 第4回薬剤抵抗性遺伝子診断法研修会	ナミハダニのビフェナゼート抵抗性遺伝子頻度を推定するためのqPCR法を習得する。	2019. 3. 14-15	1. ビフェナゼート抵抗性遺伝子診断法に関する説明 2. 特異的プライマーを用いたqPCRによる遺伝子診断実験 3. 抵抗性遺伝子頻度算出 4. 遺伝子診断法に関する課題および利用法の検討	ハダニ抵抗性プロジェクト担当者（京都大学、静岡県、奈良県）